

1 国 指 定

指定種別	指定年月日	名称・所在地	員 数	概 要
重要文化財 (彫 刻)	昭和24. 2. 18	阿弥陀如来坐像 (山本 光明寺)	1 体	高さ1.38m上品下生の印を結び跏趺座。鎌倉時代の作と推定される。
(")	昭和33. 2. 8	誉田別尊坐像 (八幡町1999 鳩ヶ嶺八幡宮)	1 体	衣冠束帯の坐像。高さ1.01m。体内に墨書の銘文があり建治3年の作。(1277)
(絵 画)	平成 5. 6. 10	絹本著色八相涅槃図 (竜丘上川路1000 開善寺)	1 幅	鎌倉時代中期の作品。涅槃図を中心に7つのエピソードが色鮮やかに描かれている。
(工 芸)	昭和28. 3. 31	画文帯四仏四獣鏡 (竜丘上川路1000 開善寺)	1 面	御猿堂古墳出土と伝承、直径23.7cm。白銅製中国六朝時代の作と推定。
(建造物)	昭和 5. 5. 23	石室、五輪塔 (下久堅南原1142 文永寺)	2 基	弘安 6 年癸未12月29日の刻名がある。(1283年、知久敦幸62歳の時)
(")	昭和 9. 1. 30	白山社奥社本殿 (上飯田風越山頂海拔1490m)	1 棟	永正 6 年(室町時代)の墨書がある。(1509)昭和15年・49年修理実施。
(")	昭和27. 3. 29	旧小笠原家書院 (三穂伊豆木3942 飯田市)	1 棟	一重入母屋造唐破風、総こけら葺き。桃山時代の建築様式が残っている。寛永初年(1624)の建築 主室164.91㎡、玄関12.813㎡、昭和44.4. 1～昭和45.9.30半解体修理。
(")	昭和27. 3. 29	開善寺山門 (竜丘上川路1000 開善寺)	1 棟	瑠璃閣ともいわれる単層唐様建築、室町時代の前期の建築といわれている。昭和36年に解体修理を実施した。
重要有形民俗 文化財 (建造物)	昭和49.11.19	下黒田の舞台 (上郷黒田2346)	1 棟	天保11年建築の操り人形専用の舞台。(1840)
名 勝	昭和 9. 1. 22	天竜峡(川路・龍江)	1	天竜峡の命名は弘化4年(1847)漢学者阪谷朗蘆による。「十勝」は書家日下部鳴鶴の選・命名による。
特別天然 記念物 (動物)	昭和30.12.15	ニホンカモシカ (中央アルプス一帯)	1 種	日本に住む唯一の野生ウシ科動物で日本特産種。
天然記念物 (動物)	昭和50. 6. 26	ヤマネ (標高500～1800mの山地)	1 種	げっ歯目ヤマネ科。一属一種の日本特産種で世界的にも珍しい。

2 県 指 定

指定種別	指定年月日	名称・所在地	員 数	概 要
県 宝	昭和45. 4. 13	梵鐘（下久堅 文永寺）	1 口	鎌倉時代後期弘安2年（1279）と推定される。
〃	昭和60. 11. 21	旧座光寺麻績学校校舎 （座光寺2535）	1 棟	舞台校舎として珍しく、学校として建築年代が古い。 明治6年（1873）
〃	昭和60. 11. 21	眉庇付青 （飯田市美術博物館）	1 領	妙前大塚古墳出土、古墳時代、総高32cm、鉢は下底で直径20.2cm、短径18.8cm、高さ13cm
〃	昭和63. 8. 18	木造十一面観音立像 （三穂立石140立石寺）	1 体	高さ1.05m一木造り。平安時代の古い様式を残している。
〃	平成12. 3. 27	下伊那出土の富本銭、和同開珎銀銭	2 枚	天武12年（683）鑄造の我国最古の貨幣富本銭と和銅元年（708）鑄造の和同銀銭
史 跡	昭和35. 2. 11	高岡第一号古墳 （座光寺3338高岡神社）	1 基	前方後円墳
〃	昭和40. 4. 1	飯沼雲彩寺古墳 （上郷飯沼3334）	1 基	前方後円墳
〃	昭和44. 7. 3	御猿堂古墳 （上川路873他17筆）	1 基	前方後円墳、画文帯四仏四獣鏡出土
〃	昭和44. 7. 3	馬背塚古墳 （上川路319他6筆）	1 基	前方後円墳、一墳二石室
〃	平成6. 2. 17	代田山狐塚古墳 （松尾代田1403-71）	1 基	伊那谷唯一の前方後方墳で、東海地方との文化交流を知る上で極めて重要。
〃	昭和46. 5. 27	鈴岡城址 （駄科1729他53筆）	1 区域	中世の南信一帯における平山城の構造を知るうえに大切な城跡である。
〃	昭和47. 10. 16	松尾城址 （松尾1006他38筆）	1 区域	台地の突端を利用した平山城で遺構もはっきりしている。松尾小笠原氏の根拠地として室町時代を通じ、城は下伊那の政治の中心であった。

指定種別	指定年月日	名称・所在地	員数	概要
天然記念物 (動物)	昭和43. 5. 16	モリアオガエル繁殖地 (上郷黒田3481 野底山池の平)	1 区域	5月から7月にかけて産卵
(")	昭和50. 2. 24	ベニヒカゲ	1 種	
(")	昭和50. 11. 4	ホンシュウモモンガ	1 種	
天然記念物 (植物)	昭和40. 4. 30	山本のハナノキ (山本6771 伊坪光)	1 本	樹高30m、胸高周囲4.8m、推定樹齢300余年
(")	昭和42. 5. 22	長姫のエドヒガン (追手町2-655美術博物館)	1 本	樹高20m、胸高周囲5.4m。飯田城主の家老安富家にちなんで、地元では「安富桜」の愛称で親しまれている。
(")	昭和43. 3. 21	川路のネズミサシ (川路4693)	1 本	樹高18m、胸高周囲3.5m、樹齢約1000年といわれる。
(")	昭和43. 5. 16	風越山のベニマンサクの自生地 (上飯田6999、6998)	1 地域	群生地、分布の東限、海拔が高い。(600m~1400m)
(")	昭和43. 5. 16	立石の雄スギ雌スギ (三穂立石502、659)	2 本	雄スギ胸高周囲9.2m、雌スギ8.3m。樹高雄スギ60m、雌スギ40m、樹齢は約1000年といわれる。
天然記念物 (地質)	昭和51. 3. 29	三石の甌穴群 (下久堅688-1、690)	1	往時の天竜川の河蝕作用並びにその後、この地域の地盤隆起等を示す地学上の資料。

3 飯田市指定

指定種別	指定年月日	名称・所在地	員数	概要
有形文化財 (絵画)	昭和43. 11. 19	菱田春草の「白き猫」 (春草会 追手町2-655 美術博物館内)	1 点	絹本墨画
(")	平成13. 8. 21	絹本著色聖徳太子絵伝 (追手町2-655 美術博物館)	5 幅	鎌倉末~南北朝時代の製作で、宮ノ上太子堂に伝来した。
(美術工芸品)	昭和46. 3. 15	法全寺の梵鐘 (千代3268 法全寺)	1 口	室町時代の特徴をよく保っている。永享11年(1439)
(")	昭和46. 3. 15	立石寺の梵鐘 (三穂立石140 立石寺)	1 口	室町時代の特徴をよく保っている。嘉吉3年(1446)
(")	昭和46. 3. 15	定継寺の雲板(龍江2372)	1 口	永享2年(1430)の陰刻あり。
(工芸品)	昭和47. 5. 11	尾林古窯の狛犬 (追手町2-655美術博物館)	3 体	慶長14年(1609)作の銘あり。
(")	平成 7. 10. 24	鳩ヶ嶺八幡宮獅子頭 (追手町2-655美術博物館)	1 頭	室町時代初期の特徴を示す古式の獅子頭

指定種別	指定年月日	名称・所在地	員数	概要
(彫刻)	昭和53.12.1	釈迦涅槃像 (座光寺2638 元善光寺)	1体	像長155cm。江戸前期の作と推定される。
(")	平成 5. 9.28	阿弥陀如来座像 (柏心寺)	1体	像高51.8cm。木造漆箔で鎌倉時代前半期の作。
(考古資料)	平成 6. 2.18	木炭棺(垣外遺跡) (上郷考古博物館)	1基	弥生時代後期方形周溝墓の埋葬施設。
(建造物)	昭和51.11.29	鳩ヶ嶺八幡宮本殿 (八幡町1999)	1棟	木造三間社流造。江戸時代明暦2年(1656)建立。
(")	平成 5. 9.28	柏心寺山門 (箕瀬町1-2464番地1)	1棟	寛文10年(1670)以前建立。江戸時代前期の建造物。
(")	昭和49. 7.25	阿弥陀寺の千体仏観音堂 (丸山町2丁目6728)	1棟	飯田城主脇坂安政公建立。推定寛文12年(1672)。
(")	昭和60.11.20	飯田城桜丸御門(通称赤門) (追手町 県飯田合同庁舎)	1棟	宝暦4年(1754)建立。
(")	平成 3. 9.21	耕雲寺の羅漢門 (座光寺1708)	1棟	寛政7年(1795)建立。上層が高い二重門で、竜宮門形式が特徴。
(")	平成 6. 2.18	経蔵寺山門 (上郷別府1768)	1棟	飯田城桜丸の門を移築したもの。安土桃山時代の創建。
(")	平成 4. 2.24	毛賀諏訪神社本殿	1棟	木割りや彫刻に立川流の作風がみられる。文化12年(1815)建立。
(")	昭和60.11.20	白山社隨身門 (滝の沢6684 白山社)	1棟	総けやき造り、高さ11m、奥行き4m、間口7mの唐破風三間楼門造り。
(")	平成 7.10.18	久堅神社天神社本殿	1棟	享保16年(1731)建立。
(")	平成10. 6.23	運松寺鐘楼門 (県名古屋1914)	1棟	享保20年(1735)建立。市内最古の鐘楼門
(")	平成10.11.27	旧飯田城の八間門 (松尾久井2595-1)	1棟	文禄年間(1592~1596年)建立。現存する飯田城最古の遺構
(")	平成12.11.22	長石寺本堂 (時又329)	1棟	明治3年(1870)再建。立川流の直系が請負った最後の大規模建築といわれる。
無形文化財	昭和43.11.19	大名行列 (本町3丁目 宮下藤一郎)	1式	江戸時代の大名行列の所作を伝承しているもの。
"	平成 2.11.14	今田人形芝居 (龍江3383 前沢武志方)	1式	宝永元年(1704)より伝わる伝統的な人形浄瑠璃芝居。
"	平成 6. 2.18	黒田人形芝居 (上郷黒田)	1式	元禄年間より伝わる伝統的な人形浄瑠璃芝居。
民俗資料	平成 6. 2.18	操人形「老女形の首」 (黒田人形)	1個	元文2年(1737)作。製作年の判明する操人形首としては国内最古。

指定種別	指定年月日	名称・所在地	員数	概要
史跡	昭和43.11.19	塚原二子塚古墳 塚原1号 (竜丘桐林3046他3筆)	1基	前方後円墳
"	平成12.11.12	水城の水佐代獅子塚古墳 (松尾水城3457他9筆)	1基	前方後円墳
"	昭和47.5.11	神の峰城跡 (上久堅8166-3他3筆)	1区域	中世山城の姿がよく残っている。
"	平成8.10.29	知久平城跡 (下久堅知久平801-2 他3筆)	1区域	中世から近世にかけての築城から廃城までの経過がわかり、典型的な平山城である。
"	昭和43.11.19	日樹上人墓 (羽場元山白山社 権現堂境内)	1基	五輪石塔寛永20年(1643)5月
"	昭和47.11.2	白隠石 (山本竹佐344-16)	1基	宝暦7年(1757)白隠和尚山本通過の際、村人の要請により自然石に揮毫された立派なもの。(白隠和尚73歳の時)
"	昭和60.6.20	下茶屋の道標 (鼎下茶屋994-6)	1基	宝暦10年(1760)に設置。遠州街道と伊久間街道の分岐点で秋葉街道の方向を示している。
"	昭和60.6.20	八幡の道標 (松尾八幡町1971-1)	1基	宝暦10年(1760)に設置。下条街道と秋葉街道の分岐点にたっている。
"	昭和46.3.15	飯田藩主堀家の墓所 (諏訪町4166 長久寺墓地)	1区画	石碑は大きく、境内も広く立派。寛政5年(1793~)
"	昭和43.11.19	観耕亭碑 (追手町2丁目641 長姫神社境内)	1基	石碑撰文 安積 信(良斉)書高橋豊桂(石斎)安政6年(1859)
天然記念物 (植物)	昭和43.11.19	羽場の大柊 (羽場町3丁目726 小林源治方)	1本	胸高周囲3.4m、推定樹齢400年 (昭和45.4.10移植)
(")	昭和46.3.15	桜丸の蚊母樹 (追手町2丁目678 県飯田合同庁舎裏)	1本	旧飯田城桜丸に残された珍樹。
(")	昭和46.3.15	龍江大屋敷の イワテヤマナシ (龍江9637-1 中山与平方)	1本	胸高周囲2.6m、樹高15m、樹齢約250年
(")	昭和47.5.11	正永寺原の公孫樹 (正永町2-1499-3 今村光伸方)	1本	胸高周囲5.8m、樹高40m、樹齢約450年
(")	昭和48.12.25	愛宕神社の清秀桜 (愛宕町2781 愛宕神社)	1本	中世、清秀法印が仁治年間手植。太さ根廻り7m、胸高周囲6m、樹高約10m、紅彼岸桜、推定樹齢750年

指定種別	指定年月日	名称・所在地	員数	概要
天然記念物 (植物)	平成12.11.22	水佐代獅子塚のエドヒガン (松尾水城3457)	1本	胸高周囲5.0m、樹高約17m、推定樹齢300年以上。
(")	平成12.11.22	黄梅院の紅しだれ桜 (江戸町3丁目251)	1本	胸高周囲5.5m、樹高約18m、推定樹齢400年。
(")	平成12.11.22	毛賀くよとのシダレザクラ (毛賀685)	1本	胸高周囲3.8m、樹高約15m、推定樹齢300年。
(")	平成14.7.12	浅間塚の一本杉 (上郷黒田4233)	1本	胸高周囲4.2m、樹高約22m、推定樹齢600年以上。
(")	昭和60.6.20	鳥屋同志のカヤの木 (伊賀良大瀬木3530 旭ヶ丘中学校内)	1本	胸高周囲4.0m、樹高20m、樹齢300年以上と推定される。
(")	昭和60.6.20	鼎一色の大杉 (鼎一色15 一色神社内)	1本	胸高周囲約4.9m、樹高40m、樹齢360年と推定される。
(")	平成2.1.17	阿弥陀寺のシダレザクラ (丸山町2丁目6728)	1本	胸高周囲4.2m、樹高15.0m、樹勢・樹形とも良好な古木である。
(")	平成3.3.15	千代のアベマキ (千代1252-2、林良三方)	1本	胸高周囲3.9m、樹高約16.0m、樹齢200年以上と推定される。
(")	平成8.10.29	万古の栃の木 (千代法全寺万古)	1本	樹高25m、胸高周囲8.7m、樹齢推定700年。栃の木としては当地方屈指の巨木であり、樹高、幹回り等は、市内最大。
(")	平成9.6.18	野底山次郎坊のチョウセンゴヨウ (上郷黒田3842) ～旧林道野底山線沿い 次郎坊地籍	1本	胸高周囲3.2m (直径1.02m)、樹高約38m、樹齢推定280年。チョウセンゴヨウ(チョウセンマツ)は、中部、四国地方の亜高山帯にしか自生せず、当市でも珍しい樹種である。
(")	平成7.10.18	嵯峨坂ざぜん草自生地	1地域	500余株の自生地
(動物)	平成1.1.31	ギフチョウ(飯田市全域) (卵、幼虫、さなぎ、成虫)	1種	市内に生息するギフチョウは翅紋の黒帯が広いという形態的な特徴がある。

4 国指定・選択

指定種別	指定年月日	名称・所在地	員数	概要
重要美術品 (書籍)	昭和10.5.10 認定	高山日記 (川路 牧内寛之)	3巻	安永7年(1778)
(")	昭和15.2.23 認定	後奈良天皇宸翰女房奉書 (下久堅 文永寺)	1通	紙本墨書(太元修法)
(")	昭和15.2.23 認定	後奈良天皇宸翰御懐紙 (下久堅 文永寺)	1幅	紙本墨書(詠春色浮水唱歌)
(")	昭和15.2.23 認定	正親町天皇宸翰女房奉書 (下久堅 文永寺)	1通	紙本墨書(太元八誓像)
(建造物)	昭和23.10.1 認定	鐘楼 (竜丘上川路 開善寺)	1棟	瓦葺、入母屋造り、室町時代の作といわれている。

指定種別	指定年月日	名称・所在地	員数	概要
(彫刻)	昭和24.4.13 認定	木造薬師如来座像 (山本久米 光明寺)	1体	高さ85cm、保延6年(1140)3月3日の墨書あり。
(")	昭和22.10.1 認定	木造十一面観音立像 (三穂 立石寺)	1体	高さ1.05m—木造り。平安時代の古い様式を残している。
(建造物)	昭和24.5.28 認定	門(旧飯田城八間門) (松尾久井 木下昭郎方)	1棟	旧飯田城八間門、桃山時代末期
(")	昭和24.5.28 認定	経蔵寺山門 (上郷別府1768)	1棟	飯田城桜丸の門を移築、安土桃山時代の創建。
無形民俗文化財	昭和50.12.8 選択	伊那の人形芝居 (今田人形、黒田人形)	1	江戸時代中期から伝承されている人形芝居。